



羽村市こども計画が

スタート！

こどもまんなかはむらへ！

問合せ 子ども政策課☎261

この計画は、羽村市がめざす社会を「ともにはぐくみ ともにそだつ こどもまんなかはむら」とし、5つの基本目標とその目標を達成するための19の施策、55の主な取組みで構成しています。

計画の構成

めざす社会	ともにはぐくみ	ともにそだつ	こどもまんなかはむら
基本目標1	全ての子供の人格・個性が尊重され、権利が保障されるまち		
基本目標2	全ての子供が適切に養育され、切れ目なく健やかに成長できるまち		
基本目標3	全ての子供が幸せに成長できる家庭や環境があるまち		
基本目標4	全ての子供が意見を表明し、参画できるまち		
基本目標5	家庭や子育てに夢を持ち、子育てに伴う喜びを実感できるまち		

計画の対象	子ども（心身の発達の過程にある者）と子育て世帯
計画の期間	令和7年度～11年度

みんなで選んだロゴマーク決定！

「羽村市こども計画」のシンボルとなるロゴマークが誕生しました。市内の小・中学生や市民の皆さんから771票の投票があり、そのうち470票を獲得したロゴマークに決定しました。



ロゴマークはどなたでも自由に使用することができます。

ロゴのコンセプト

笑顔を描く複数の線は「こどもまんなか社会」（国のこども大綱※が例示している13の社会）を表しています。それをランダムに、羽村市の特徴である「水」の流れをイメージさせるように円形に配置しています。そのまんなかに「こどもまんなかはむら」のキャッチフレーズを配置しました。また、羽村市の「羽」を円の切れ目に配置することで、誕生前の子どもから子育て当事者まで切れ目なく支援することをイメージしています。

はむらこどもまんなかカードをつくりました

「こどもまんなか社会」とは、全ての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会（こども大綱）とされています。このような社会をわかりやすく表現するため、こども大綱の例をもとに、13枚の「はむらこどもまんなかカード」を作成しました。このカードが実現した社会が「こどもまんなか社会」です。



こどもまんなか 応援サポーター宣言

羽村市は「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました。こどもまんなか応援サポーターとは、こども家庭庁の「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組む個人、団体・企業、自治体などのことをいいます。「こどもまんなか」の取組みは難しいものではありません。「子どもが話しやすい雰囲気を作り、子どもの意見に耳を傾ける」「電車やバスで、子連れの方に席を譲る」「子連れの優先席や子どもメニューを作る」「子ども向けのイベントを行う」など、皆さんにできる範囲で少しずつ取り組むことが、「こどもまんなか社会」の実現につながります。

子どもの意見を尊重したまちづくりを推進していくため、市民・団体・事業者等の皆さんも「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組みにご協力をお願いします。

詳しくはこちら

◀こども計画について（市公式サイト）
※国のこども大綱についての詳しい内容も、こちらから見るすることができます。

Contents

- P 1～2 羽村市こども計画がスタート
- P 3～4 令和7年度 市の予算
- P 5～8 国民健康保険／後期高齢者医療保険／国民年金
災害 もしもに備えて情報収集を
- P 9～10 狂犬病予防注射を忘れずに／4月は若年層の性暴力被害予防月間／青梅・羽村ピースメッセンジャー参加者募集／多摩地域平和ユース生 募集／戦没者遺族による慰霊巡拝
- P 11～16 お知らせ
- P 17～20 情報アラカルト
- P 21～22 今月の相談日
今月の休日診療 など

表紙の写真 市民公募作品



「車堀に咲く花大根」
春まっさかり。小さな花大根がきれいに咲いていました。
撮影者 羽村 伊左雄さん
撮影日 2023/4/4
撮影場所 阿蘇神社下 羽用水路側